



## 子どもたちが主役の運動会

5月26日(土)の運動会、多くのご家族の方に来ていただき、ありがとうございました。天候にも恵まれ(気温は上がりましたが、曇り空で助かりました)、子どもたちのけがや体調不良もほとんどなく、競技も順調に進めることができました。

競技も応援合戦も白団が勝利し、赤団はとても悔しそうでしたが、児童生徒一人一人が一生懸命に競技に取り組み、それぞれの団が全力を挙げて応援を行った、その一瞬一瞬がとても輝いていました。当日にうまくやれなかった子どもたちもいましたが、運動会本番に向けてこの一か月、毎日毎日努力してきたことが大切だと思います。こういった行事を通して、子どもたちは自分の可能性を開き、成長していきます。そして、そんな子どもたちの姿から先生方も多くのことを学んでいきます。

小学部低学年の「たからさがしにしゅっぱ一つ」、小学部1組の「1くみさんのホットケーキ」、中学部の「TONOスペシャルグランプリ」など、よく工夫されていて、観ていても楽しい競技でした。自分の力でできる子、先生の手助けが必要な子、自分だけが頑張るのではなく仲間を助ける子、泣いてしまう子、予想外の動きをする子など、いろいろな児童生徒がいましたが、どんな場面でも自分の持ち味を出して頑張ろうとしていました。「徒競走」も、順位などに関係なく、最後までその生徒が自分の力を出し切る姿が見られました。走るだけの単純な競技なのに、本当に多くの心打たれる場面がありました。

ときに、支援に入る先生が、その子どもの動きを急がせすぎる場面もあり、一息おいて子どもの気持ちに合わせてみたらどうだろう、と思うこともありました。教師側の反省点です。保護者の方が観られて、そんなふうになにか感じられたことがありましたらお知らせください。子どもたちの気持ちに寄り添った運動会、子どもたちが充実感を得られ、やっつけて楽しく感じられる運動会にしていきたいと考えています。

駐車場や観戦場所等でのご協力も、ありがとうございました。



